

2 (2) その他、特筆すべき教育・研究・診療・社会貢献活動等への取組と成果、世界的位置付けなど。(※評価年次報告「卓越した教育研究大学へ向けて」で報告する内容)

特筆すべき教育活動

- 全国共通コアカリキュラム導入に合わせた学部カリキュラムを再編し、学部学生の大学院への進学を促進することを目的とした本学独自のアドバンス科目の充実を図った。5年次には研究実習を行なう既存の基礎研究実習に接続し、歯学研究の基礎を身近に体験する歯学基礎演習を新設することでプレ大学院教育の充実を図った。臨床実習、臨床研修への円滑な導入を容易にするため、学部5年次に臨床課題の解決能力を身につけさせる目的で、PBL方式の歯学臨床ゼミを新設し、また臨床手技の体得を考慮した臨床シミュレーション実習を新設した。
- 大学院重点化がなされた独立歯学研究科として、かつ全国唯一の歯学に特化した修士課程を有する研究科として、高い学位授与率を誇る。修士課程、博士課程ともに、入学から学位習得に至る学習過程を段階的に構成している。すなわち、1年次にテーマ選定会議を設け、研究立案、プレゼンテーション能力の育成を図るとともに、複数の指導教員による研究指導体制を構築した。全国トップレベルの総合大学にある歯学研究科として、他部局との連携による大学院教育体制を有する。具体的には、協力講座（加齢医学研究所、金属材料研究所）の設置、連携大学院（国際高等教育研究院、分子イメージング）の設置、及び他部局との単位互換があげられる。さらに学外研究機関との連携講座（国立長寿医療センター研究所、国立国際医療センター研究所）の新設、海外学術提携校との連携、インターフェイス口腔保健科学国際シンポジウムの定期開催などを利用した異分野融合型教育を実践した。

特筆すべき研究活動

- 平成19年度概算要求研究推進「大学間連携事業：生体-バイオマテリアル高機能インターフェイス科学推進事業（東北大学歯学研究科・金属材料研究所、九州大学応用力学研究所）」の採択：歯学の特質であるバイオマテリアルを用いた形態・機能の再建・創建に関し、バイオマテリアルと生体との界面の制御からアプローチする研究事業であり、歯学として独自性とともにも普遍的な意義を持ち、歯学領域から発信した世界初の研究推進事業である。
- インターフェイス口腔健康科学事業の推進：インターフェイス口腔健康科学国際シンポジウムインターフェイス口腔健康科学フォーラムの定期開催を行なっている。また国際シンポジウムの成果は、Monographシリーズ「Interface Oral Health Science」として世界へ発信した。
- NEDO国際共同研究助成事業：国際標準創成分野に「歯科用磁性アタッチメントの最適化と国際標準の創成」平成17-20年度に採択
- 経済産業省地位新生コンソーシアム研究開発事業：「患者参加型歯科医療を実現する噛み合わせの立体可視化装置の開発」平成18-20年度採択
- 厚生労働省科学研究費補助金（長寿科学総合研究事業）：「低侵襲かつ簡便な摂食・嚥下機能評価システムの構築に関する研究」平成18-20年度採択
- 厚生労働省科学研究費補助金（長寿科学総合研究事業）：「小規模な高齢者介護施設等における感染管理に関する研究」平成18-21年度採択

特筆すべき社会貢献活動等

- 地域歯科保健推進室を設置，宮城県，仙台市ならびに地域歯科医師会と口腔保健推進にかか
る連携を推進。東北大学歯学会50回記念大会など地域歯科医師会との共催講演会，研究科
主催のフォーラム開催などの学術連携を推進。
- 1) 公開講座・講習会関連
 - ・初心者のためのインプラント治療セミナー（専門職向け）
 - ・歯学研究科がん口腔ケア特別研修の実施
 - 2) 公開講座・講習会関連（専門職向け）
 - ・第3回東北大学乳幼児歯科保健従事者研修（宮城県から委託）
 - ・サイエンス・パートナーシップ・プログラム事業教員研修
 - 3) 公開講座・講習会関連（一般市民向け）
 - ・中学生大学探検（中学生の啓蒙）
 - ・みやぎ県民大学（講師派遣及び実施）
 - ・東北大学出前授業（地元高校への講師派遣）
 - ・仙台市歯と口の健康づくり市民の集い公開講座（講師派遣）
 - 4) 歯学研究科・歯学部・東北大学病院附属歯科医療センター・ニュースレターの発行
 - 5) 宮城県歯科健診総合推進事業（歯科検診の精度管理）（宮城県からの依頼）
 - 6) 美里町・登米市との歯科保健推進に関わる協定の締結
 - ・美里町歯周疾患健診の支援、事後支援への参加
 - ・登米市はつらつ歯科健診の支援、事後支援
 - 7) 仙台市歯と口の健康づくりネットワーク会議への参画（本会議・介護予防推進部会）